

## I 第23週の発生動向 (2009/6/1~2009/6/7)

1. インフルエンザについては、県全体では、大幅に減少傾向にあります。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、上十三保健所管内において、前週に引き続き**警報**が発令されています。

## II 第23週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
小児科+内科 (85) インフルエンザ	3	0.2	5	0.3	2	0.1	1	0.1	9	1.0			20	0.3	-58										
小児科	(74) RSウイルス感染症	1	0.1	2	0.2								3	0.1	2				1	0.1					
	(75) 咽頭結膜熱	2	0.2	5	0.6							4	1.0	11	0.3	-1			2	0.3					
	(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.3	17	1.9	15	1.7	1	0.2	41	6.8	5	1.3	91	2.2	4			12	1.5					
	(77) 感染性胃腸炎	47	5.2	28	3.1	11	1.2	19	3.8	14	2.3	31	7.8	150	3.6	-4	7	7.0	40	5.0					
	(78) 水痘	34	3.8	2	0.2	6	0.7	7	1.4	8	1.3	3	0.8	60	1.4	1			34	4.3					
	(79) 手足口病	26	2.9	3	0.3			2	0.4	2	0.3	1	0.3	34	0.8	-9			26	3.3					
	(80) 伝染性紅斑	1	0.1	4	0.4			1	0.2	1	0.2			7	0.2	-1			1	0.1					
	(81) 突発性発しん	3	0.3	2	0.2	1	0.1	2	0.4	2	0.3	5	1.3	15	0.4	-4			3	0.4					
	(82) 百日咳															0									
	(83) ヘルパンギーナ															0									
(84) 流行性耳下腺炎	10	1.1	1	0.1	1	0.1	1	0.2					13	0.3	-1			10	1.3						
眼科	(86) 急性出血性結膜炎														0										
	(87) 流行性角結膜炎	3	1.5			1	0.5						4	0.4	0			3	1.5						
基幹	(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	6	6.0					4	4.0	11	1.8	-4									

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	眼科	基幹
東地方	2	1	0	0
青森市	12	8	2	1
弘前	15	9	3	1
八戸	14	9	2	1
五所川原	7	5	1	1
上十三	9	6	2	1
むつ	6	4	1	1
合計	65	42	11	6

■は警報、■は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：八戸1人、上十三2人 (21年計：148人)
- (34) つつが虫病(四類全数把握疾患)：八戸1人 (21年計：5人)
- (73) 麻しん(五類全数把握疾患)：青森市1人(検査診断例) (21年計：5人)

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

# 感染症の窓

# 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

本県では、これまでに3例の届出があり、2009年では、第22週で初めて届出がありました(右図)。いずれも、60~80歳代、男性です。本疾患は、咽頭、扁桃あるいは創傷部のA群溶血性レンサ球菌が引きがねとなり、突然の高熱から、急速に肝不全、腎不全、多臓器不全、軟部組織の壊死などにより敗血症性ショックで、死亡することもあります。早期に発見された場合の治癒率が高いことから、創傷部位に腫脹や排膿が見られる場合は、速やかに医療機関を受診することが重要です。好発年齢はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎では幼児から学童、劇症型溶血性レンサ球菌感染症では成人から高齢者に見られます。感染予防として、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、扁桃炎などの十分な治療が重要です。

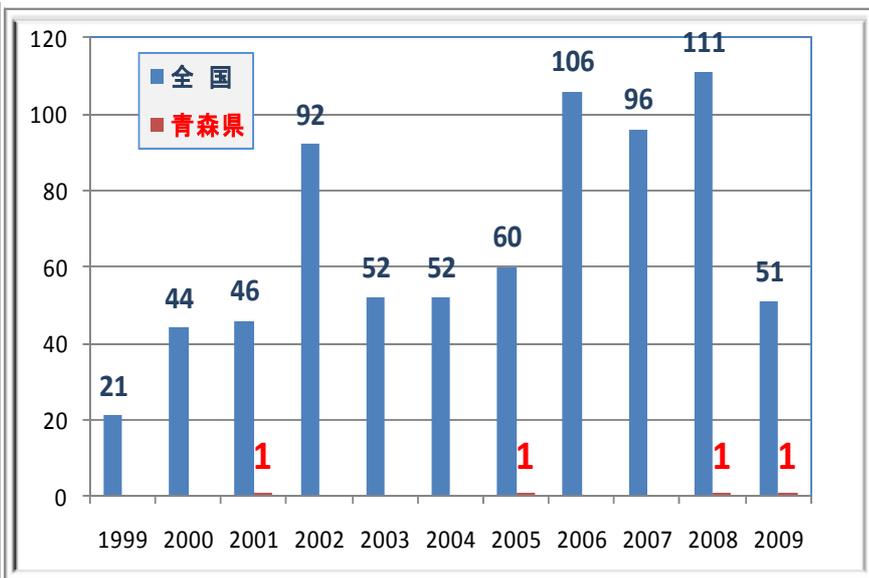


図1 劇症型溶血性レンサ球菌感染症届出数年次推移

青森県は23週現在(暫定報告数)

#### Ⅳ インフルエンザ情報 第23週 (6/1~6/7)

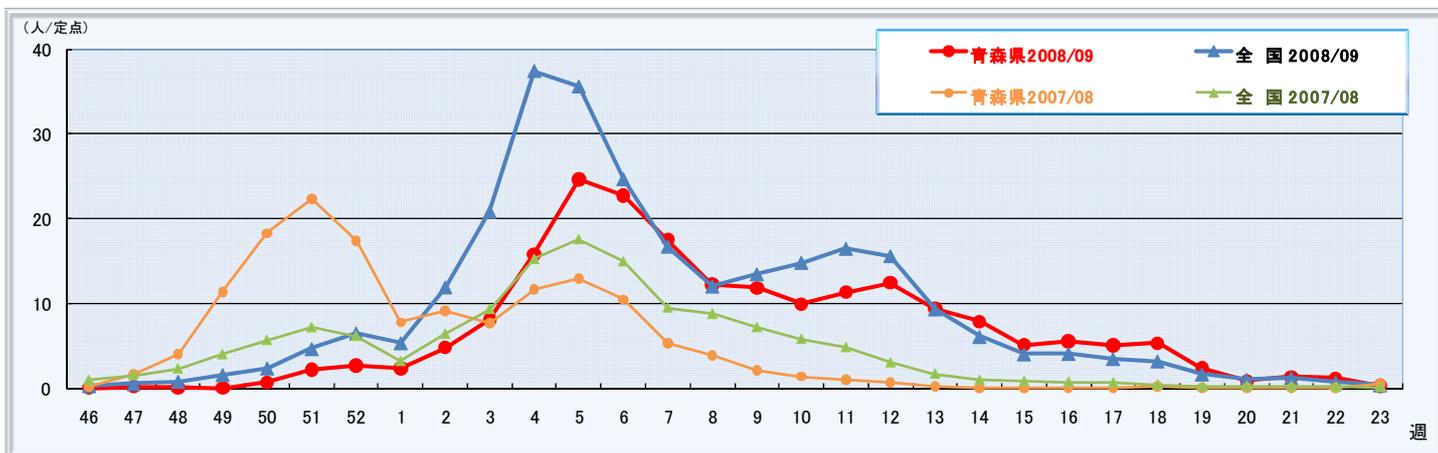
迅速診断キットによる型別は、以下の通りです。

	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
<b>インフルエンザ報告数</b>	0	5	2	1	9	0	3
<b>A型</b>	0	0	0	0	0	0	1
<b>B型</b>	0	5	2	1	9	0	2

県全体のインフルエンザ届出数は大幅に減少しています。諸外国および国内において新型インフルエンザが流行していることから今後もインフルエンザ感染予防対策を継続することが大切です。

#### Ⅴ 全国及び青森県におけるインフルエンザ届出数推移 (2007-2008 シーズン - 2008-2009 シーズン)

\* Adobe Reader は、最新のバージョンをお願いいたします。



#### Ⅵ 新型インフルエンザ情報

(2009年6月10日 午後5時速報値)

現在、新型インフルエンザ感染患者は米国、メキシコなど73カ国で確認され、合計25,288人が報告されています。

日本国内の感染者数は475人です。

厚生労働省では、

- ・正しい情報に基づいた冷静な対応
- ・発生国への渡航を避けること
- ・手洗いやマスクの着用、うがいの励行をお願いしています。

#### 新型インフルエンザ医療相談センター窓口

保健所名	電話番号
東地方保健所	017-741-8116
弘前保健所	0172-33-8521
八戸保健所	0178-27-5111
五所川原保健所	0173-34-2108
上十三保健所	0176-23-1996
むつ保健所	0175-24-1231
青森市保健所	017-765-5282

受付時間は、平日及び祝祭日ともに、午前8:30~午後5:30です。

(窓口開設期間：2009年6月11日現在)

平成21年5月18日以降、地方衛生研究所(環境保健センター)及び検疫所において判明した結果をもって、新型インフルエンザ患者の確定とすることになりました。

厚生労働省

